

プラオレ！カップ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

(1) 参加選手・関係者への事前申し合わせ事項

- ① 観戦者は、1チーム当たり最大30名の保護者を認める。ただし、2週間の体調管理チェックシート（記録用紙は各自）を記録し、チーム代表へ提出、新型コロナ感染のない旨を申告すること。取り纏めて試合時にオフィシャルBOXへ提出すること。体温表に関しては選手、保護者別に作成し、会場に入る前に検温、記録を行い、オフィシャルBOXに提出することとし、観戦できるのは自チームの試合のみとする。なお、体温が37.5度以上の者は会場入りを認めない。
- ② 会場内の観戦に関しては、自チームの観客スペース及び、使用可の客席を使用すること。前の試合が終了し退場が完了してから入場が可能となる。指定された入退場口より速やかに入退場すること。また、チームの応援代表者の方は使用客席の消毒を確実に行うこと。
- ③ 参加選手及びその保護者（観戦者）または引率者やチーム関係者は大会前2週間分の体調を「体調管理チェックシート」（記録用紙は自由）に記録し、健康管理を徹底すること。
- ④ 以下の事項に該当する場合は、参加することができない。当日に書面（体調管理表（各自用意））で確認を行う。また、1週間以内にチェックのある選手に関しては詳細を確認する。また、当日に発熱のある際には、会場への集合を控えること。
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ⑤ 参加選手を含む関係者は全員不織布マスクを持参し、競技等実施時・飲水中を除いて不織布マスクを着用すること。
- ⑥ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ⑦ 飲物やタオルは個々に用意し、共用しないこと。
- ⑧ 競技等実施時を除いて、人と人との距離を確保すること。（できるだけ2mを目安に、最低1m）
- ⑨ 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑩ 大会（試合）前後のミーティング等においても、三つの密を避けること。
- ⑪ 選手（チーム関係者）、観戦者（保護者）、役員、それぞれに決められた入退場口を使用し、それぞれの動線が交わらないようにすること。（別紙）
- ⑫ 選手の入場は自チーム試合の2試合前が終了しその選手が全て退場してから入場可能となる。

- ⑬ 参加者のワクチン接種状況を確認し2回のワクチンを終了していない選手に関しては、大会2日前以内に抗原検査を行い参加する事。

感染防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。

(2) 大会会場での感染拡大防止対策について

- 1) アルコール等の手指消毒剤をチームで用意すること。

2) 更衣室、休憩・待機スペース

- ① 控室の更衣は10名以内とする。控室に入りきらない選手は通路で更衣を行うこと。更衣後の荷物は通行の邪魔にならないよう整理し、通路、または控室へ入れること。控室内でのミーティングはコーチ、選手共に不織布マスクを着用し、ドアを開放した状態、及び短時間で終わらせること。
- ② 控室やベンチなど複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ等）についての消毒を行い、速やかに退場すること。
- ③ 換気扇を常に回し、入口ドアを開ける等、換気に配慮すること。
- ④ ベンチ、観戦席の使用した部分を各チームで責任をもって消毒し、速やかに決められた動線で退場すること。

3) 飲食

- ① 選手は飲物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うこと。観客席での飲食は認めない。
- ② 給水の際は周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えるようにすること。
観戦者は飲食できません。(飲み物は可) ご協力をお願いします。
- ③ 飲みきれなかったドリンク等をリンク内で捨てないようにすること。
- ④ ゴミはすべて持ち帰ること。忘れ物はすぐに処分させていただきます。
- ⑤ 唾や痰をはくことは絶対に行わないようすること。

(3) 参加選手、関係指導者の発熱を確認した場合の対応について

1) 大会前

- ① 当該参加選手、スタッフ、濃厚接触者と特定された者の参加は認めない。
- ② 発熱者と2週間以内に接触している場合は参加を認めない。

2) 大会期間中

- ① ゲーム当日、発熱が確認された場合は、発熱者に関しては保護者に迎えに来てもらい速やかに帰宅させ、会場への集合は避ける。保護者に帰宅を促し、かかりつけ医に早急に相談、指示に従う。
- ② 発熱した選手と2日間をさかのぼり、マスクなしで15分以上の会話のあった者（食事時など）、10分程度の至近距離にいた者、接触のあった者に関しては、抗原検査もしくはPCR検査（検査キットは各チームで準備する）で陰性が確認できるまで出場を控える。また、保健所より濃厚接触が認められた場合は出場を認めない。
- ③ エントリー選手のうち、参加できなくなった選手は見え消しにて選び、ラインナップ表を作成する。
- ④ チーム4名以上の発熱者が発生した場合はチームとしての参加を認めない。
- ⑤ 期間中、エントリー者の中から陽性者が確認された場合、全ての競技を中止とする。

3) 大会後

- ① 感染者の所属する学校・チームや行政機関の指示に従う。
- ② 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、栃木県アイスホッケー連盟（080-5893-0414）に速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

(4) 日ア連主催大会新型コロナウイルス感染症対応マニュアルより

- ① ブルーライン整列は最低1mをとる。
- ② レフェリーとの接触を避け、握手をせずに社会的距離をとって礼のみ。
- ③ 試合前に行う円陣は小さくならないように配慮し、エアータッチで接触しない。
- ④ 選手・スタッフはベンチ内では大声を出さない。（ペナルティ対象）
- ⑤ ベンチ内の選手は交代選手・ドアマンを除き着席すること。
- ⑥ 試合終了後、レフェリーや相手チームへのあいさつはしない。

(5) その他

- ① 会場への移動等は、各チームで責任をもって行き、集団感染のリスク（三密の条件）を避けること。
- ② 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、「体調記録表」は期間を定めて（1か月程度）保存しておきます。